

令和8年2月13日

保護者各位

宮城県仙台第一高等学校
校長 樽野幸義

令和7年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果について

保護者の皆さまには、日頃より本校への御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、「生徒・保護者共通アンケート」の実施に際しましては、御多用中にもかかわらず、御回答いただき誠にありがとうございました。

さて、このことにつきましては、下記のとおりです。この結果を今後の教育活動にいかし、さらなる学校の活性化とより良い学校づくりを推進していきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動により一層の御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 実施期間 令和7年11月11日(火)～令和7年12月2日(火)

2. 回答人数及び回答率

	生徒	保護者	教職員
回答数	896名	904名	59名
回答率	96%	95%	98%

(参考)R6 回答率 96% 73% 98%

3. 調査内容(15項目)

下記(1)～(15)の項目について「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階で回答していただいた。

- (1) 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている
(スクールポリシー)
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている (学習指導)
- (3) 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている (生徒指導)
- (4) 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている (進路指導)
- (5) 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている (教育相談)
- (6) 部活動は活発に行われている (部活動)
- (7) 生徒会活動は活発に行われている (生徒会活動)
- (8) 有意義な学校行事がある (学校行事)
- (9) 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる (特色ある学校づくり)
- (10) 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている (防災教育)
- (11) 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている (開かれた学校づくり)
- (12) 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている (施設設備)
- (13) 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる (いじめ対応)
- (14) 学校生活は充実している (総合満足度)
- (15) 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている (SSH)

(1)～(14)は県内公立高校共通項目 (4段階の選択肢も共通)、(15)は本項独自項目

4. 集計結果（データ）

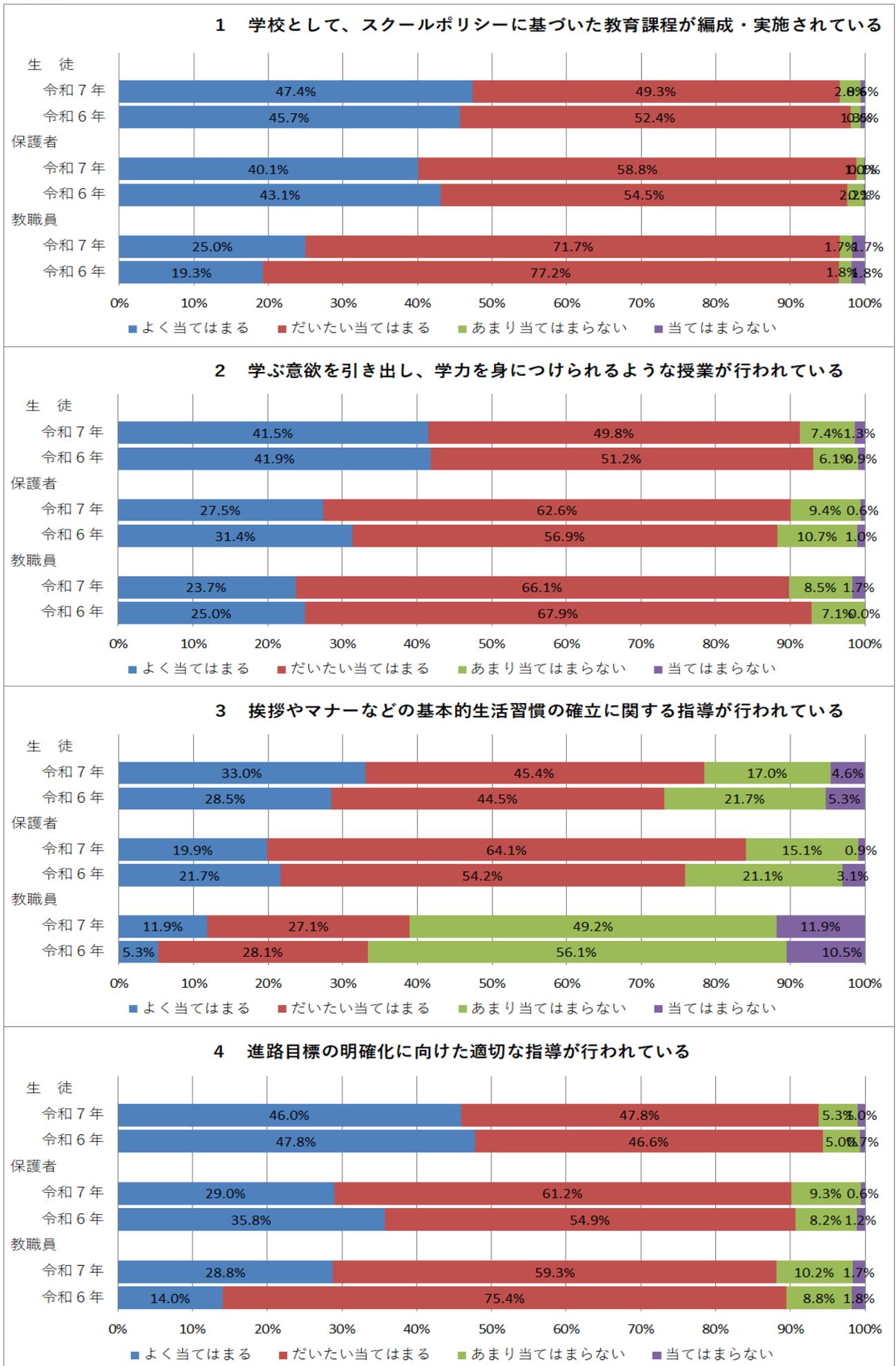
調査項目ごとの肯定的な回答（「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」）の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたものです。集計結果をグラフ化したものを本校HPに掲載しております。

5. 集計結果（コメント）

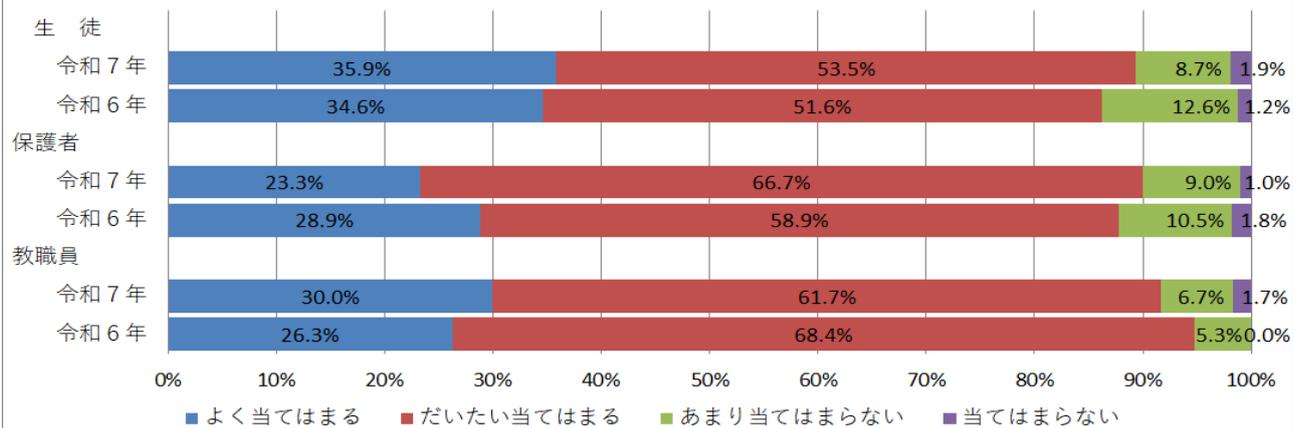
調査項目	生徒全体	順位	前年比増減	保護者	順位	前年比増減	教職員	順位	前年比増減
(1) スクールポリシー	96.6%	3	-1.5ポイント	98.9%	1	1.2ポイント	96.7%	3	0.2ポイント
(2) 学習指導	91.3%	9	-1.8ポイント	90.1%	9	1.8ポイント	89.8%	7	-3ポイント
(3) 生徒指導	78.4%	15	5.4ポイント	84.0%	14	8.2ポイント	39.0%	15	5.6ポイント
(4) 進路指導	93.7%	6	-0.6ポイント	90.1%	8	-0.5ポイント	88.1%	9	-1.3ポイント
(5) 教育相談	89.4%	10	3.2ポイント	90.0%	10	2.2ポイント	91.7%	6	-3.1ポイント
(6) 部活動	98.7%	1	0.2ポイント	98.2%	3	0.8ポイント	93.2%	4	0.5ポイント
(7) 生徒会活動	80.8%	14	-1.2ポイント	92.4%	7	3.7ポイント	81.7%	10	-7.4ポイント
(8) 学校行事	97.4%	2	-0.6ポイント	98.3%	2	0.1ポイント	98.3%	2	0.1ポイント
(9) 特色ある学校づくり	95.5%	5	1.9ポイント	97.8%	4	1.1ポイント	78.0%	13	0.8ポイント
(10) 防災教育	89.1%	11	3.8ポイント	87.0%	13	8.7ポイント	89.8%	7	-3.2ポイント
(11) 開かれた学校づくり	92.3%	7	5.7ポイント	87.1%	12	2.6ポイント	78.0%	12	-4.5ポイント
(12) 施設設備	86.1%	13	2.1ポイント	87.9%	11	2.4ポイント	70.0%	14	5.7ポイント
(13) いじめ対応	87.1%	12	3.5ポイント	79.9%	15	5.5ポイント	93.2%	4	5.5ポイント
(14) 総合満足度	96.1%	4	-1.3ポイント	97.4%	5	1.1ポイント	100.0%	1	1.8ポイント
(15) SSHについて	91.3%	8	-0.5ポイント	95.4%	6	3.6ポイント	81.7%	10	-0.8ポイント

- 今年度の保護者を対象とするアンケート調査は、生徒のIDや端末を用いる方法から、eメッセージ機能により保護者が直接回答できる形へと変更・実施した。これにより保護者の回答率は、昨年度の73%から95%へと大きく上昇した。生徒の回答率は昨年度と同様であった。
- 肯定的回答の割合が高い項目に、「(6)部活動は活発に行われている（部活動）」「(8)有意義な学校行事がある（学校行事）」があり、それに伴い「(14)学校生活は充実している（総合満足度）」も90%台後半の高い数値となっている。
- 肯定的回答の割合が低い項目は、「(3)挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）」であるが、肯定的回答の割合は昨年度と比べ大きく上昇している。日常からの指導に加え、討論会等の活動を通して生徒自身が気づき実践しようとする意識が高まったからではないかと考える。自由記述の中にも、「生徒の自主性を尊重」との肯定的な意見がある一方で、「服装や髪形などの身だしなみを高校生らしい節度あるものに」「マナーの改善が必要」「(応援練習など)時代にそぐわない」との指摘もいただいた。生徒の自主性を大切にすることはもちろんではあるが、さらなる改善に向けて取り組んでいきたい。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上高まった項目は、生徒5、保護者5、教職員が3となっている。このうち生徒・保護者・教職員ともに上昇している項目は、(3)生徒指導のほかに「(13)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）」である。本校では年4回の調査を通じて実態把握に努め、学年団と生徒指導部、保健厚生部が緊密に連携し、組織として対応をしてきた結果であると考えられる。より一層の充実を目指して丁寧な目配りや面談などの対応を心がけたい。また、「(5)教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています（教育相談）」も生徒・保護者で上昇した。一方で、カウンセリングの希望者が多く予約が取りにくい現状があり、教職員の評価が下がった要因の一つとなっている。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上低下した項目は、生徒・保護者でゼロである。教職員は5項目あり、特に(4)生徒会活動で大きく低下している。秋の生徒総会が出席者不足で流会したことなど、生徒会活動への無関心の拡大が背景にあると推測される。
- 保護者の自由記述回答数は、1年生が56件、2年生が43件、3年生が29件であった。
- 「校訓の自重献身、自発能動が体現されている」「勉学に取り組む姿勢や環境がとても良い」「日々充実した高校生活を送っている」「保護者も楽しめる部分が多い」など肯定的な意見が多くあり、今後の励みとしていきたい。また、強歩大会の復活を求める意見も多数寄せられた。
- 一方で、授業や学術研究のあり方に対する厳しい指摘、学校行事や部活動に関する要望、更衣室・トイレ等の施設設備の改善を求める意見など、意見や要望を数多くいただいた。今後対応を検討していきたい。なお、学校評価の意義や方法を疑う意見もあったが、評価項目等は県下公立高校統一のものであり、学校教育法に基づいた調査であることをご理解いただきたい。

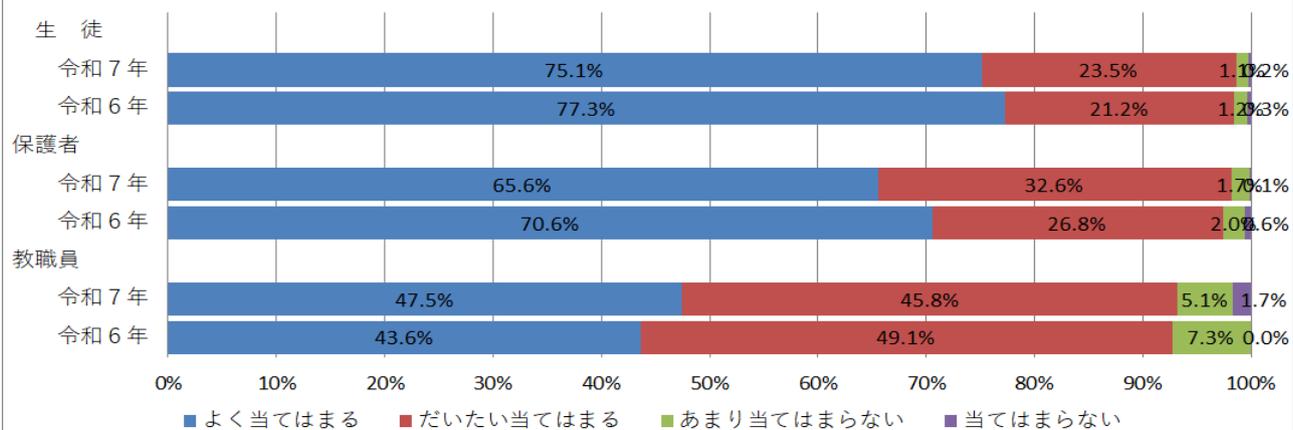
6. 調査結果（グラフ）



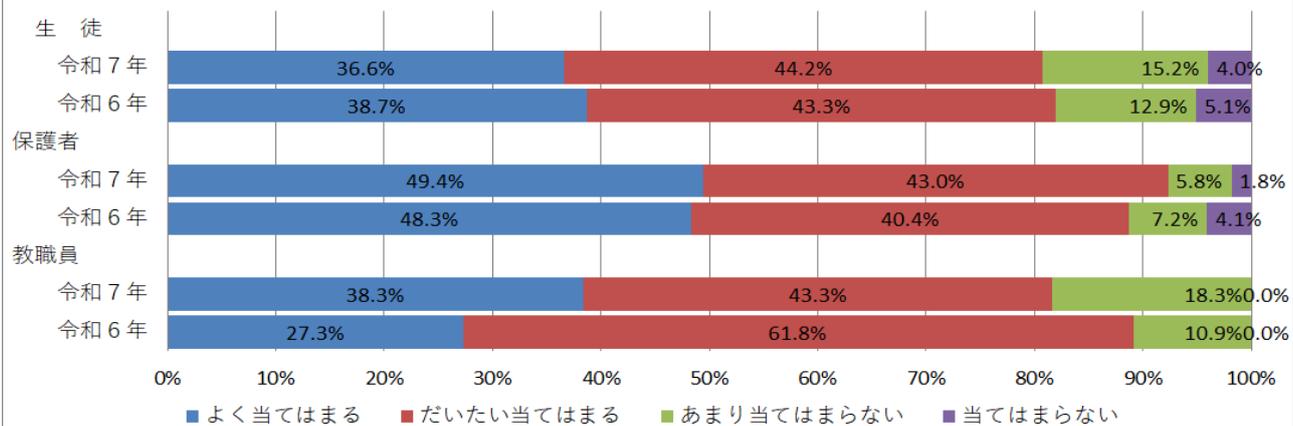
5 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



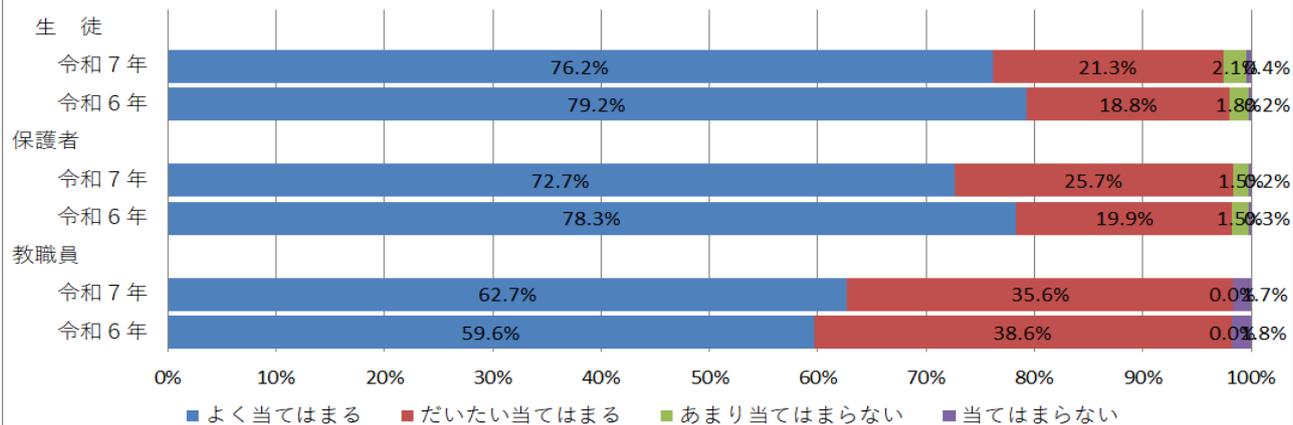
6 部活動は活発に行われている



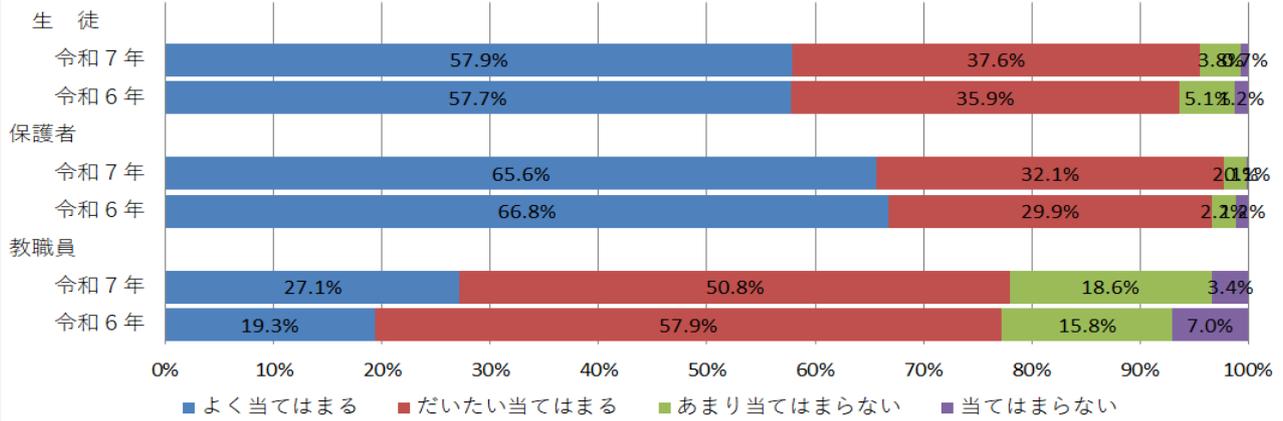
7 生徒会活動は活発に行われている



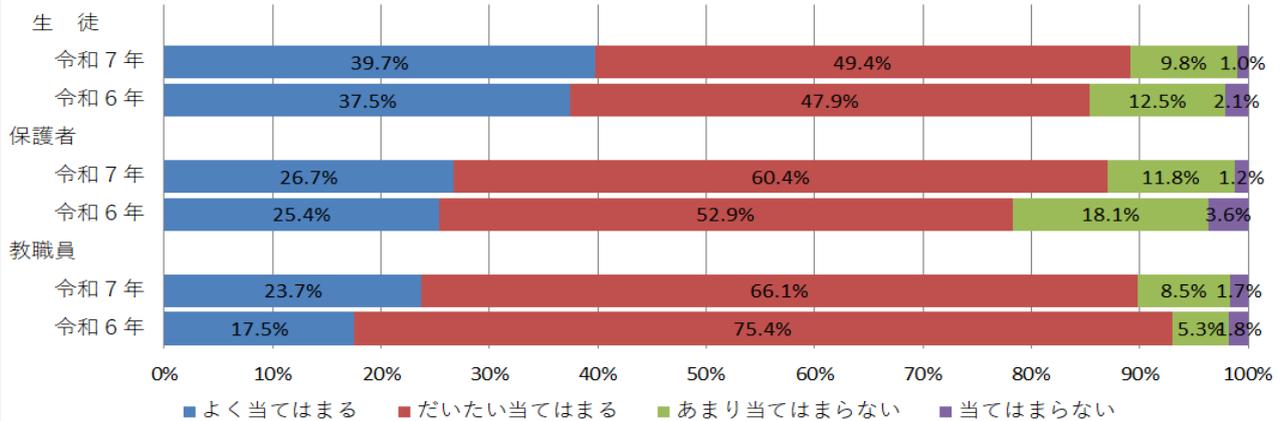
8 有意義な学校行事がある



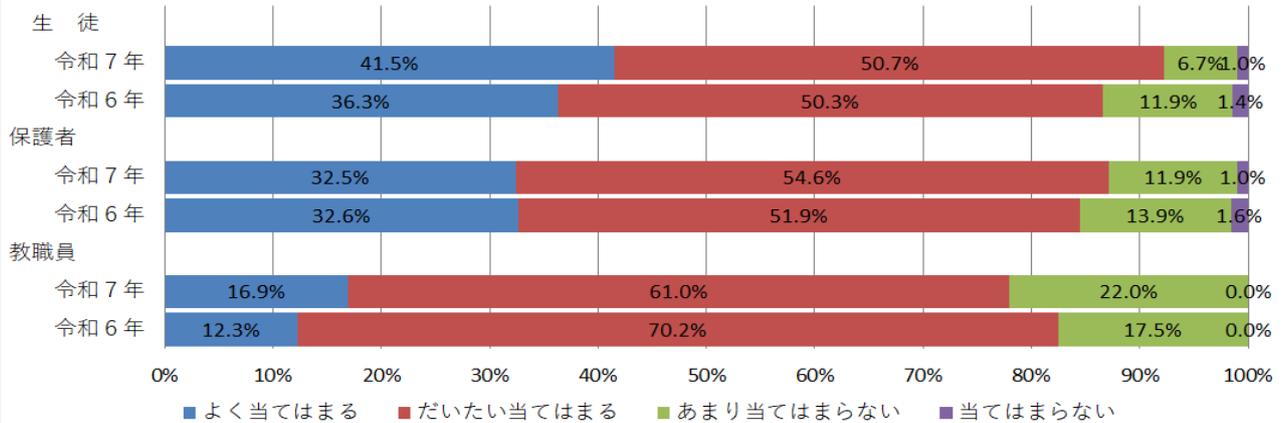
9 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



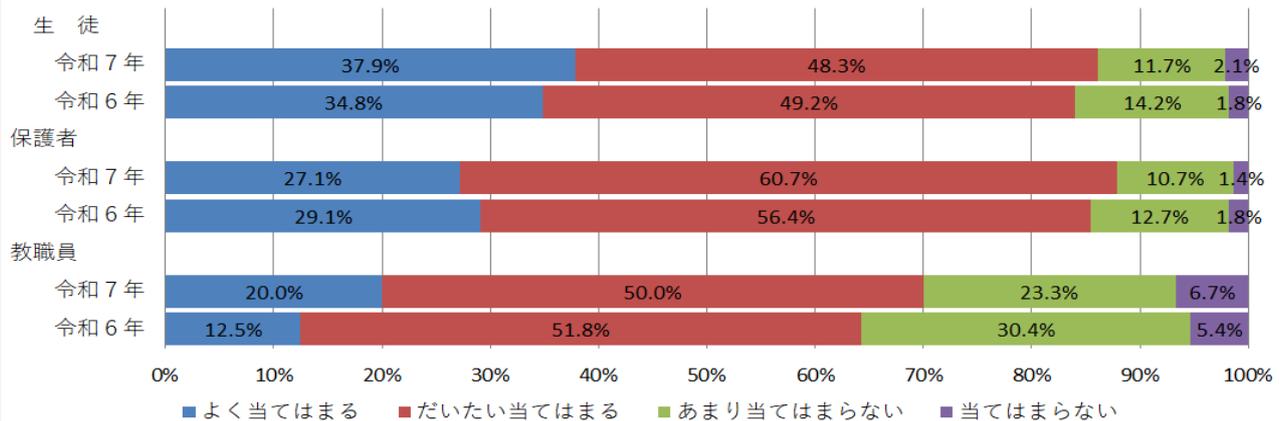
10 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



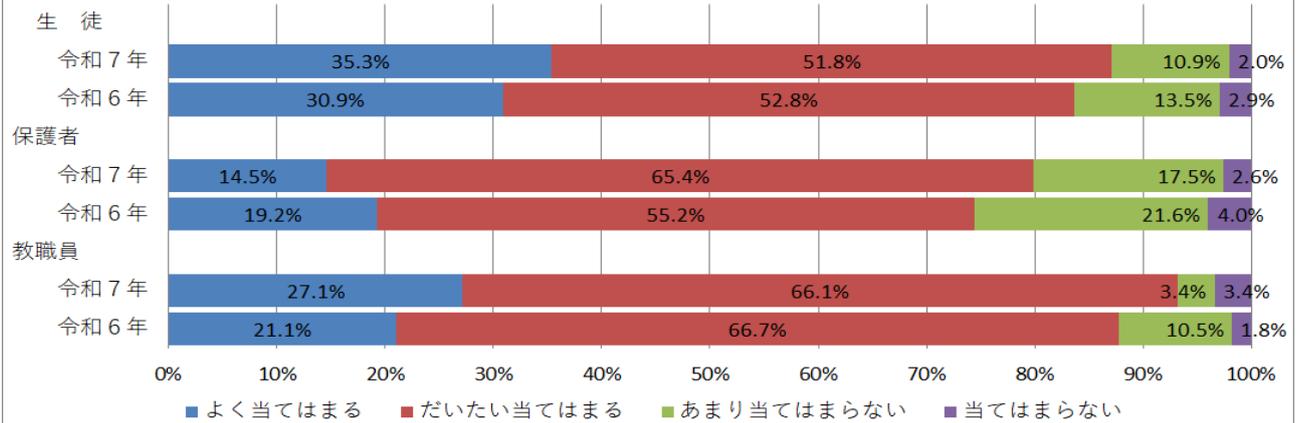
11 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



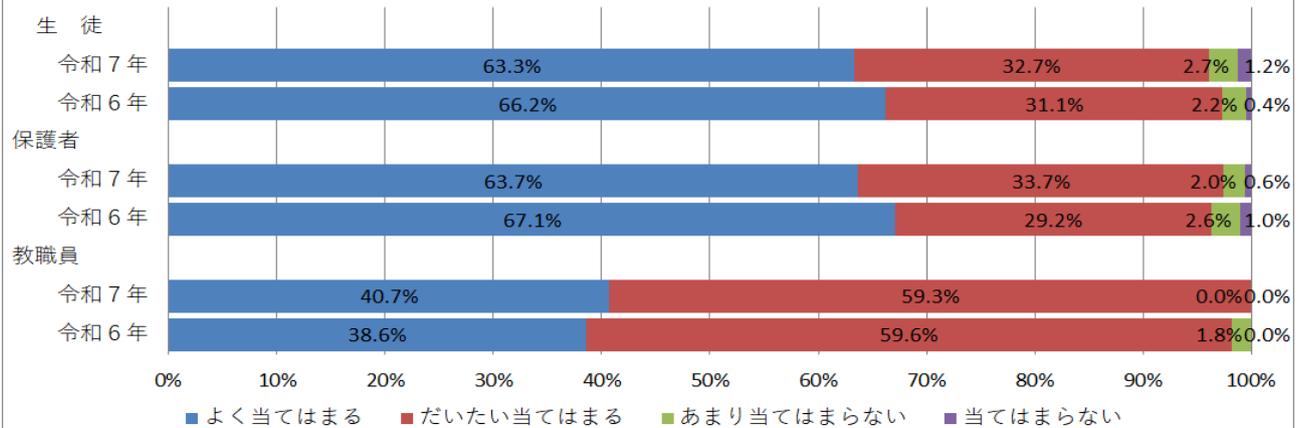
12 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



13 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



14 学校生活は充実している



15 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている

